



保健だより

子どもたちも新しい生活に慣れてきた頃ですが、大人が思っている以上に頑張りすぎてストレスを感じていたり、連休明けにまた気持ちが不安定になったりするお子さんも中にはいます。

普段泣かない子が泣く・今までできてたことが「やって」「できない」など何かと理由を付けて困らせたり、元気がなかったり…子どものちょっとしたサインに「わがママ？」というようにとらえてしまうことも多く、大人が見逃しやすい傾向にあります。

子どもも毎日、集団生活の中で色々な事に挑戦し頑張っています。その頑張りを認め、たくさん褒めたり、いっぱい抱きしめたりすることで満足し、次に頑張れるエネルギーを作り出すことができます。子どもたちが心身ともに安定して過ごせるように、ご家庭でもご配慮をお願いします。



毎朝の元気チェック

～つめを切って清潔に～

爪が伸びていると爪と指の間にばい菌が繁殖しやすくなります。また、爪が長いと、どこかに引っかけてしまったり、自分だけでなくお友だちを傷つけてしまうことにもなりかねません。お家で定期的に切って下さるようお願いいたします。



小さな子どもは、身体の異常を自分で伝えることができません。

朝、子どもが起きたら抱っこをしたり着替えをしながら、体調や機嫌のチェックをしましょう。熱や嘔吐・下痢、湿疹・発疹はないですか？鼻水や咳は出ていませんか？顔色・機嫌はいかがでしょう？食欲はありますか？小さな子ほど症状が悪化しやすいものです。毎朝ご確認をお願いします。休むほどではないけれど、どこか調子が悪い時は、必ず担任にお知らせください。

園でも丁寧に様子を見ていきます。

☆感染症について☆



園内で感染症が発生した際は、各クラスにリーフレットを置いておしらせします。また、病院受診し、感染症の診断が出た場合は園にご連絡をお願いします。

下記の感染症の場合は、意見書・登園届が必要です。意見書・登園届は園にも用意していますが、園のホームページよりダウンロードしてご使用下さい。

意見書（医師が記入）	登園届（医師の診察を受け保護者が記入）
・麻しん（はしか） ・風しん・水痘（みずぼうそう） ・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） ・結核 ・咽頭結膜炎（プール熱） ・流行性角結膜炎 ・百日咳 ・腸管出血性大腸菌感染症 ・急性出血性結膜炎 ・髄膜炎菌性髄膜炎 	・溶連菌感染症 ・手足口病 ・マイコプラズマ肺炎 ・伝染性紅斑（リンゴ病） ・ウイルス性胃腸炎 （ノロ・ロタ・アデノウイルス等） ・ヘルパンギーナ・带状疱疹 ・RS ウイルス感染症 ・突発性発しん ・インフルエンザ ・新型コロナウイルス感染症



4月にこども園で胃腸炎が流行しました。

胃腸炎は、登園届が必要です。

登園のめやすは、嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれることです。

感染拡大防止の為に、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。